

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第2回西脇市こどもプラザ運営委員会
開催日時	令和5年2月13日（月） 午後1時30分～3時
開催場所	西脇市茜が丘複合施設Miraie 会議室1
出席委員の氏名又は人数	9名
欠席委員の氏名又は人数	1名
出席職員の職・氏名又は人数	5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	1 令和5年度こどもプラザ事業実施計画（案） について  2 こどもプラザの運営について（意見交換）

会議の記録（概要）

発言者	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開会</li> <li>○委員紹介 委員による自己紹介</li> <li>○会議成立の報告 委員9名の出席により会議成立の報告</li> <li>○傍聴者について 入室の了承確認及び傍聴者1名の報告</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○議事 議事1、令和5年度こどもプラザ事業実施計画（案） について、事務局から説明をお願いする。</li> </ul>

事務局	○会議資料に基づき、事務局から説明
委員長	令和5年度のこどもプラザ事業実施計画（案）について、質問や意見等はないか。
委員	西脇市全体として、子育てをどう進めていくのかというネットワークができておらず、担当課が分かれすぎていたので、子育てを一元化していないと感じる。4月から国でもこども家庭庁として一元化される。周産期から就学前、小中学校へとどのように子育てをしていくのか市として考えてもらいたい。
事務局	各部署でそれぞれ頑張っているが、連携が取れていないと反省するところもある。社会福祉課とヤングケアラーの研修をしたり、こども福祉課とこども会議をしたりするなど連携している事業もあるが、まだまだのところもあり、考えていかなければならない。4月からはこどもプラザが福祉部に移るので、市内のこども園ともより連携を取りながら事業が進められたらと考える。
委員	兵庫県や北播磨で里親の委員会に出席しているが、里親関連の事業も何かしてもらえたらと思う。兵庫県や西脇市でも里親を増やす取組をしていると思うが、こどもプラザでも里親について考えていただきたい。
事務局	利用者の中に里親の方もおられる。こどもプラザの事業ではないが、みらいえで里親講座も実施されていた。
委員	里親というのは、子育ての時期だけ協力するという里親なのか。
委員	要保護の子どもを預かることである。季節里親や土日だけ預かる里親などがある。
委員	学校終業後、家庭に帰るまでの子どもを預かることなのか。
委員	事情があって子どもを養育することができない保護者

<p>委員長</p>	<p>の子どもを長期間預かることである。養子縁組を希望される方もあるがハードルが高いため、土日だけや季節里親などをされる方が多い。</p> <p>養育里親は、一定期間子どもを預かり、また家庭に帰していくシステムである。里親の周知、啓発が大事である。県にある里親協会や児童養護施設にある児童家庭支援センターに里親支援専門相談員がいるが、北播磨の中にそのような施設が少ないので、現在実施していることからさらに充実が必要だと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>文部科学省が学校の指導要領を決めているように、子育てに関して市によって方針があるのか。例えばこども園でも園によってそれぞれの特徴があるのは良いと思うが、小学校へ繋げるための基本的な指針、統一されたものはあるのか。</p>
<p>委員長</p>	<p>園や学校にはそれぞれの基準があり、みらいえやこどもプラザの運営に関しても規定がある。西脇市全体の総合計画から、それをさらに細分化したのがあり、それぞれがもっている取り決めと合わせ、連携しながら子どもたちを育てている。</p>
<p>委員</p>	<p>北はりま定住自立圏の中でされている事業についてお聞きしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>北はりま定住自立圏共生ビジョン事業については、西脇市は西脇市だけ、多可町は多可町だけで子育てをするのではなく、西脇市と多可町が連携して子育てをしていくことを目標とした事業である。</p> <p>また、加東市、加西市もあわせた3市1町で、支援者の研修会や情報交換等を行っている。例えば、イベントや事業を通して、時間を守ることや人の話を聞くことの大切さを伝えるなど、近隣の市町で情報交換をし、共通理解しながら同じように指導するようにしている。</p>
<p>委員長</p>	<p>令和5年度、特に力を入れたいという事業はあるか。</p>

事務局	<p>児童館事業の中で、コロナ禍になってから小学生や中学生、高校生との関わりが薄くなってきたので、令和5年度は小中高生の事業にさらに力を入れていきたい。また、親子でできる山登りや夏休みに実施するみらいえでのお泊り体験など、令和4年度、コロナの影響で実施できなかった事業に力を入れていきたい。</p>
委員長	<p>保護者の視点から、こどもプラザの事業についての意見を伺いたい。</p>
委員	<p>8歳と2歳の子どもがいるが、園でいろいろな体験をさせていただいた。こどもプラザからも園の方へ伝えることや協力できるようなことがあれば連携してほしい。</p>
委員長	<p>普段、PTAとのつながりはあるか。</p>
事務局	<p>子どもの保護者の立場としてはあるが、PTAとしてのつながりはない。</p>
委員	<p>4点お聞きしたいことがある。</p> <p>1点目は、遊具の貸出しについてである。コロナ対策として、遊具の写真を見て一つ選び、使い終わったら次の遊具と交換し消毒されているが、他の市町村では定期的に消毒をしているだけで、こどもプラザのような対応をしているところは少ない。1、2歳の子どもが写真を見て遊具を選ぶのは難しく、すぐに交換となってしまうので、保護者が付きっきりで対応することになる。家庭で一日、子どもと過ごすことが大変という思いでこどもプラザを利用している保護者も多いので、遊具の使い方を考えていただけたらと思う。</p> <p>2点目は、おやこ交流教室の日程についてである。平日版と休日版の両方に参加しているが、土日は家族で予定を入れることが多いので、特に休日版は年間の予定を教えていただけると参加しやすくなる。半期や数ヶ月分でもよいので、わかる範囲で早めに予定を知らせていただきたい。</p> <p>3つ目は、SNSの発信についてである。前回の書面会議で市のホームページやフェイスブックに掲載してい</p>

るとあったが、子育て世代は見えていないのではないか。定員を設けている事業などについては、参加状況などもインスタグラムでリアルタイムにあげていただけると助かる。活動中に職員が撮影している写真も活動の振り返りや市のホームページで数枚使われているだけなので、もっとアピールに使った方が良くと思う。多可町のインスタグラムでは、多可町でされている事業やこども園の様子、子育てふれあいセンターの様子などがあげられており、インスタグラムを見ると多可町の事業がすぐにわかるようになっている。こどもプラザですることが難しくければ、西脇市と連携して、あげていくようにするのはどうか。

4点目は託児の希望である。ファミリーサポートセンターの利用を勧められるが、知らない人に預ける託児はどうしても利用しにくい。ファミリーサポートセンターとこどもプラザで連携した託児ができないか。講座や会議に出席するための託児ではなく、一人で買い物に行きたい、美容院に行きたい時などに利用する託児を検討してほしい。講座や会議に参加するのもしんどい保護者がいる。親子の活動は大事であるが、それは普段できるので、少しお助け、サポートになるような託児があればありがたい。

事務局

コロナ前は遊具を設置して自由に使っていたが、コロナ禍になってからは遊具を貸出制にし、職員がしっかり消毒して安全に使っていただくことを心がけてきた。小さい子どもは遊具を口に入れてしまうこともあるので、安心して使えると言われる保護者もあれば、子どもが遊具を次々に替えてしまい、消毒している職員にも申し訳ないと言われる保護者もある。消毒の手間を考えると遊具を設置している方が職員も助かるが、コロナが落ち着くまでは、もうしばらく、この方法を続けたいと考えている。貸出制では、子どもがどの遊具を好んでいるのか、子どもの遊びを把握することができる。親子でどれくらい遊びを楽しんでいるか、職員が関わりながら遊びを支援することも大事である。いただいた意見は職員とも共有し、今後、検討させていただきたいと思う。

<p>委員</p>	<p>おやこ交流教室の予定であるが、講師の予定や部屋の空き状況によってどうしても変更になってしまう場合がある。できるだけ早くお伝えできるように、改善していきたい。</p> <p>SNSでの発信については改善していかなければならないと考える。その日の活動をリアルタイムであげるとは難しいが、SNSについて職員のスキルもあげていかなければならないと考える。</p> <p>こどもプラザで実施している託児については、保護者の学びを保障するために行っており、男女共同参画センターの事業などにも協力して託児を行っている。しんどい保護者のための託児や、買い物等に行くために利用していただく託児については、職員的人数的にも厳しいものがある。</p> <p>ファミリーサポートセンターに依頼すると、ファミリーサポートセンターの方が、こどもプラザで託児をしてくれるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資格取得のため勉強したいと思われたお母さんが託児を依頼され、ファミリーサポートセンターの方と一緒にこどもプラザで過ごされたことはある。こども園でも一時預かりがあるので、利用されると良いのではと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>料金はかかるが、買い物や病院の受診、美容院に行きたいなどで利用できる一時預かりはこども園で実施している。また、病児保育も実施している。西脇市では、ファミリーサポートセンターをシルバー人材センターに委託しているが、社会福祉協議会への委託の方が良いのではないかとも思う。どこでどんな事業をしているのか、横と縦の連携をしっかりとしてほしいと思う。</p> <p>SNSの発信については、多可町はケーブルテレビがあり、その専属部署があるが、西脇市にはないのでSNSに特化することは難しいが、しなければならないと思う。</p> <p>行事予定については、こども園でも看護師の保護者の方などは10日までに、次の月の予定を出さなければ勤務が組めないなので、できるだけ早く行事予定を出すように</p>

<p>委員長</p>	<p>心がけている。</p> <p>西脇市全体の情報発信として、デジタルトランスフォーメーションをどう考えていくのか。その中の一つとしてみらいえを考えると良いのではないか。絶えず発信することが必要なインスタグラムをこどもプラザ単独で発信することは負担にもなるので、市の広報戦略としてどう考えていくのか。みらいえだけでできるものとやりたいたいけれどできないものもあるので、そこを考えながら進めていければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>学校によっては、PTAや個人で発信されているところもある。</p>
<p>委員</p>	<p>以前、多可町に住んでいたことがあったが、多可町は多可テレビで常に発信されている。いろいろなことを取材して発信されているので、町の様子がよくわかる。西脇市の良さを伝えられるローカルテレビのような発信源がないのはとても残念である。西脇市に移住してきた人や西脇市に戻ってきた人にとっても、西脇市がよくわかるように情報発信が必要ではないかと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>みらいえだけでできることと、市全体でしていかなければならないことがある。いただいたご意見は、コロナが少し落ち着き、次のステップを踏める時期になってきたということだと思う。思いや願いを集約し、子どものことを考えながら進めていってほしいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>市の広報としてはホームページにQRコードを載せており、フェイスブックや市のラインもある。また、令和4年度から新しく子育てアプリができ、必要な子育ての情報やみらいえでのイベント情報なども届くようになっている。市のラインや子育てアプリにしても情報の受け手側に登録してもらう必要があるので、お父さんお母さん方から紹介していただき、登録者を増やしていくのが良い方法だと考える。行政が持っていない発信力を使って助けていただき、味方になっていただけると情報の広がり方も違うと思うので、ぜひ御協力をお願いしたい。</p>

委員	<p>市のSNSは全て登録しており、ありがたいとは思いますが、子育て世代が望んでいる必要な情報とのズレがあるように感じる。市がやりたいと思っているイベントや講座は掲載されているが、今日何があるのか、明日何があるのかという情報を簡単に知りたい。</p>
委員長	<p>情報を出す方と受け取る側がうまくかみ合っていないと思うので、令和5年度に向けてより良い情報発信ができるように委員長と事務局で検討していきたいと思う。</p> <p>議事1、令和5年度こどもプラザ事業実施計画（案）について、賛成の方は挙手を願う。</p> <p>（委員全員挙手）</p> <p>全員賛成ということで、令和5年度こどもプラザ事業実施計画（案）について資料のとおり承認する。</p>
委員長	<p>議事2、こどもプラザの運営について、意見交換していきたいと思う。こどもプラザの利用状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○会議資料に基づき、事務局から説明</p>
委員長	<p>こどもプラザの運営や事業内容について、意見や質問はないか。小学校、中学校の先生方もおられるので、学校の視点からお聞きしたい。</p>
委員	<p>学校以外の場所であるこどもプラザでいろいろな体験をし、世界を広げる良い機会を作ってくださっていることはありがたい。また、地区の公民館などを利用して夏休み中の学習支援もしていただき、保護者の方も助かっておられると思うので、引き続きお願いしたいと思う。令和4年度、6年生がみらいえに訪問させていただき、施設の紹介をしていただいた。少し先の話ではあるが自分が親になった時を思い描く機会をもらい、良い勉強をさせていただいた。</p> <p>先程の委員の方の話でもあったが、子育て中は保護者</p>



	<p>も大変である。何か相談に行ったら、思いが十分伝わらず、行き違いがあり、しんどい時に受けとめてもらえなかったと言われる保護者がおられる。みんながどこかで助けてもらえる環境を作っていただいて、小学校に入学してもらいたい。学校だけでは難しい問題もあるので、専門機関へつなぎ、学校も専門機関とつながりたいと思うのだが、紹介するだけで学校が預けてしまったと思われるようだ。最初の関わりがとても重要ではないかと思う。</p>
委員	<p>みらいえから一番近い中学校である。みらいえに行く生徒がネットを使ってゲームなどを行っているところをよく見かける。迷惑をかけていることもあると思うが、目に余るようなことがあれば注意をしていただきたいと思います。NPO法人みなみ会の事務局が校内にあり、夏休みなど休業中に実施されている学習支援などについてもよく聞くので、これからも続けていただきたいと思います。3世代パパ・ママ育て事業などについては学校へもお声かけいただいている。他にも命の授業やデートDVなどの授業もあるので授業時数の確保が難しいが、できるだけ協力させていただきたいと思う。</p>
委員長	<p>冒頭でネットワークの話も出ていたが、社会福祉協議会の立場からお願いしたい。</p>
委員	<p>ボランティアの育成としては、こどもプラザと共催して講座などを実施しているが、なかなか実際の育成につながっていないところがある。一人でもやってみたいという方を活動しているボランティアにつないだりしながら、少しでも実際の活動につながられるようにしたいと考えている。</p> <p>利用者支援では個人情報も多くあり、なかなか共有することも難しいが、コロナ禍で生活困窮や一人世帯など様々な苦勞が見えてきた。コロナ禍だからそうなったのではなく、コロナ禍になって初めて顕在化、顕著化してきたことだと思う。生活困窮だけではなく、ヤングケアラーや様々な問題をいろいろなところで把握されていると思うので、うまく情報共有しながら必要なところに支</p>

<p>委員</p> <p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>援ができたらと思う。また、社会福祉法人の連絡協議会で、各御家庭で賞味期限が近いものを集めていただき、生活困窮の方や相談に来られた方にお配りするなどの支援もしている。そのようなネットワークも幅広くできたらと考えている。</p> <p>こどもプラザが様々な事業をされており、自分の子育て期にこのような施設があったら良かったと思う。NPO法人みなみ会が元教員や大学生の職員で放課後の遊びや学習の支援をしているが、コロナ禍もあるのか子どもの来館が少ない。もっと大勢の方に利用していただきたいと思う。中には、「今度小学生になるのだが、どんな準備をすればよいか。」などの相談もあり、教育現場から離れて長くなるが、いろいろな世代の話に耳を傾けていただき、利用していただけると大変嬉しく思う。</p> <p>○議事終了 委員の皆様から、多くの貴重なご意見をいただいた。今後の事業運営に反映していただきたい。</p> <p>○その他 皆様からいただいたご意見を基に、こどもプラザが子どもや保護者、市民の方々にとって、より身近で安全安心な場所になるよう今後も取り組んでいきたいと思う。 議事録については、ホームページなどで公開予定である。</p> <p>○閉会</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部茜が丘複合施設こどもプラザ TEL 0795-25 - 2801 / FAX 0795-25 - 2220</p>